# とびうめ

No. 1

目 CONTENTS 次

会長挨拶 ―― ❷
球技大会報告 ―― ❸
特集 ふくおかライフレスキュー事業について ―― ❹
事業所取り組み紹介 ―― ❻
Support ―― ❽
研修報告 ―― ❾
新加盟施設紹介 ―― ❿

## 【事業所取り組み紹介】

門司障害者地域活動センター、玄海学園、北野学園、瑞穂学園

# 会長挨拶

## 福祉を取り巻く環境と協会としての対応について

福祉を取り巻く環境について、福岡県内においては不正受給などの不祥事もあり、これまで以上に社会から厳しい視線が注がれています。そのような中、当協会では「障がい当事者・ご家族が、協会会員施設であれば安心してサービスを受けることが出来る」という環境作りを重視し、質の高いサービスに向けて、いろいろな取り組みを行っているところです。地域社会からは会員・非会員関係なく福祉事業関係者として評価をされます。私たちが率先して質の高いサービスを目指し提供する中で、非会員の事業所とも良い連携が築いていければと考えています。

質の高いサービスは直接、処遇職員により提供されますので、昨年度に引き続き、今年度も権利擁護に関する実践力向上研修（年5回）や職員研修を開催いたします。また、働きがいのある環境づくりに向け、法令順守の視点も含んだ施設長研修も開催していきます。さらに権利擁護という面では、成年後見制度の活用も必須となります。様々な環境下に置かれる当事者の支援においては、弁護士、司法書士、警察や検察等との連携も必要になりますので、専門職との連携も推進していきたいと考えています。

次に、人材確保についてです。数年来の大きな課題であり、今後も厳しさが増すと予想されます。「福祉」といっても、保育・障がい・高齢等、様々な分野があり、分野ごとに仕事の魅力がありますが、社会一般のイメージは「福祉＝介護」のイメージが定着しているように感じます。しかし、「障がい福祉分野」は、生産活動を含む就労支援や生活支援を通じて、利用者と職員が一緒に成長できる・成長を共に喜びあえるという大きな魅力があります。この障がい福祉の魅力を発信する責任も私たちにあると考えております。例えば、将来を見据え社会福祉法人の公益的取り組みという視点からも小学校や中学校で行われている福祉教育を側面的にサポートし、その魅力を伝えながら福祉の担い手を育てることが大切と感じています。方法は様々あると思いますが、真の共生社会を目指すならば、幼児期から障がいの有無に関係なく地域で共に過ごす場があり、共に成長していく中で、個人の特性に応じた配慮がごく自然、当たり前に存在していることが必要だと感じています。専門特化した支援も重要ですが、あくまで共に生きるという目的のための手段であることを忘れてはいけないと思います。

**今月の表紙**

事業所取り組み紹介で取り上げた４事業所の写真を掲載しています。
詳細は６～７ページを参照ください。
（写真左上から時計回りに
玄海学園、瑞穂学園「パン工房 ショコラ」、門司障害者地域活動センター、
瑞穂学園）

# Sports スポーツ大会

●利用者の皆さんが頑張ったスポーツ大会の様子や成績などをお知らせします。

## 第６回 グラウンドゴルフ大会

令和元年５月22日（水）
雁の巣レクリエーションセンター

今年で第６回目となる今大会に13チームが参加しました。参加チームの皆さんは、快晴の中、真剣な表情で練習の成果を十分に発揮していました。、試合を真剣に取り組んでいました。結果は、優勝　笠置寮Ａ、２位　笠置寮Ｃ、３位　笠置寮Ｂでした。

毎年、他チームとの交流につながる大会が続けられるのも、運営をサポートしている各事業所から派遣された実行委員の皆様のご協力によるものだと感謝申し上げます。今後も、他チームとの交流にもなるこの大会を、続けていただけますことを希望いたします。

## 第６回 ティーボール大会

令和元年５月22日（水）
雁の巣レクリエーションセンター

今年で第６回目となる今大会に７チームが参加しました。当日は一点の雲もなく晴れわたった空の下、白熱した試合が繰り広げられました。試合を楽しむと同時に、各チーム間の親睦も深まり、選手間で会話をする光景を多く目にすることができました。

優勝した月の輪学園と２位の若久緑園は九州大会（長崎県大会）の出場権を手に入れました。大会に参加した選手、関係者の皆様大変お疲れ様でした。

## 第25回 ソフトバレーボール大会

令和元年６月19日（木）
かすやドーム

今大会はＡパート７チーム、Ｂパート６チームの参加により、熱戦が繰り広げられました。日頃の練習の成果を発揮し、ラリーが続くシーンも多くみられました。

なお、今大会Ａパート上位２チームは、今秋開催予定の九州地区知的障がい者施設親善球技大会（長崎大会）の出場資格を得ました。九州大会では、各チームとの親睦を深める機会となることを願っています。

参加施設より協力いただきました実行委員、審判員をはじめ関係者の皆様のご協力に感謝いたします。

試合結果

| Ａパート | | Ｂパート | |
|---|---|---|---|
| １位 | 若久緑園 | １位 | 蓮の実団地 |
| ２位 | 第二・第三白梅学園 | ２位 | 若宮園 |
| ３位 | 清浄学園 | ３位 | グループホームいなみつ |

## 第49回 ソフトボール大会

令和元年５月22日（水）
雁の巣レクリエーションセンター

第49回目となる今大会に９チームが参加し、青天の空の下、熱い試合が繰り広げられました。選手の皆さんは、日頃の練習の成果を十分に発揮でき、勝ったチームの選手と惜しくも負けたチームの選手も、お互い笑顔に楽しそうにプレーを行っていました。当日は、怪我人も無く大会を無事終える事が出来ました。参加施設より協力頂きました実行委員、審判をはじめ、関係者の皆様のご協力有難うございました。

# 特集 ふくおかライフレスキュー事業について

平成27年度末に「社会福祉法等の一部を改正する法律」が成立し、公益性、非営利性が極めて高い社会福祉法人には、「地域における公益的な取組」を実施することが責務として規定されました。

このような状況の中、地域における公益的な取組の一つとして、県内の社会福祉法人が団結し、生活困窮等に陥っていても既存制度では解決できずに困っている方々等に対して、各法人に配置されたサポーターが相談支援を行い、地域の社会福祉法人がそれぞれの専門性や資源を活かして支援を行う「ふくおかライフレスキュー事業」を、全ての社会福祉法人が取り組む事業として位置づけ、今後各種別協議会等のご理解を得ながら、新たに『ふくおかライフレスキュー事業　運営委員会』を発足され、平成29年4月1日から、各地区で順次取組を開始しています。

## ライフレスキュー事業とは

社会福祉法人が 各地区で社会福祉法人のネットワークを発足し生計困難等の生活課題や 地域の様々な課題に対し「できる時」に「できる所」が「できる範囲」で それぞれの専門性を活かし 連携して支援を行う社会貢献の取組です

**【提唱団体】**

◎ 福岡県社会福祉協議会

◎ 福岡県社会福祉法人経営者協議会

福岡県知的障がい者福祉協会

福岡県精神障害者社会復帰施設協議会

福岡県身体障害者施設協議会

福岡県児童養護施設協議会

福岡県社会就労センター協議会

福岡県老人福祉施設協議会

福岡県保育協議会

福岡県母子生活支援施設協議会

福岡県乳児院協議会

福岡県婦人保護・救護施設協議会

※◎は主管団体

**【事業の位置付け】**

「生計困難者に対する相談支援事業」（第2種社会福祉事業）

**【参加方法】**

法人内で参加決定後、県社会福祉協議会事務局へ「参加申込書」の提出

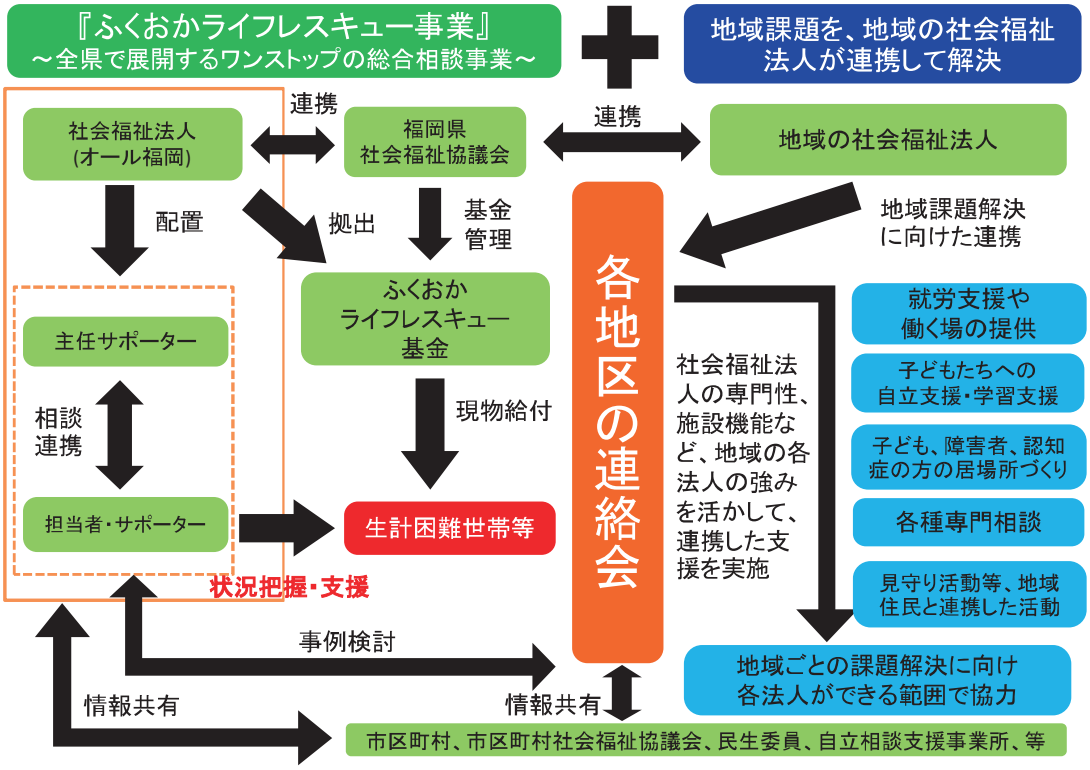
**【参加条件】**

- 地域の連絡会への積極的参加　1～3か月に1回程度
- ライフレスキュー基金への拠出　年額1口1万円以上
- 事業への積極的な協力・周知　できる範囲で

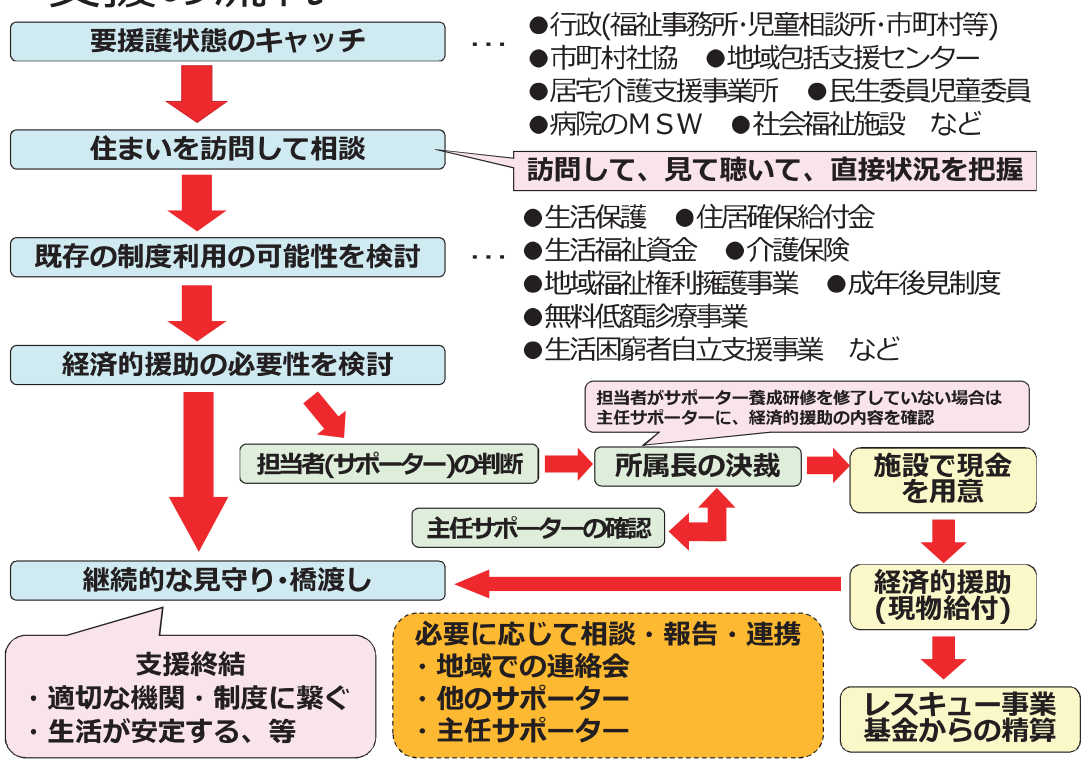
可能な法人は ＋

- 直接支援を行うサポーターの配置
- 周知協力、相談窓口、電話相談窓口、等

## 社会福祉法人の連携　イメージ図




## 支援の流れ




問い合わせ　社会福祉法人福岡県社会福祉協議会　施設福祉部　施設課内
TEL：092-584-3377　FAX：092-584-3381

参考資料　ふくおかライフレスキュー事業について（編集　運営委員会　事務局）

社会福祉法人　福岡愛育福祉会

## 玄海学園

〒819-1323　糸島市志摩小金丸2401-56
TEL 092-327-4112　FAX 092-327-4113
HP http://fukuai.or.jp/

玄海学園は糸島の海と山に囲まれた自然豊かな場所にあります。そんなのどかな環境の中で、生活介護事業（50名）、施設入所支援（50名）を行っている創設27年目の施設です。

当施設は、利用者の方のニーズに沿った支援を行うため、４つの班（リサイクル活動班（ハンガー洗浄の下請け・季節野菜の生産）、加工活動班（自然塩の生産・販売）、創作活動班（療育的活動・絵画など文化的活動）、生活活動班（園芸・縫製・洗濯等家庭科支援））に分け、利用者の方それぞれの特性や能力に応じた支援を行っています。

また、ダンス活動（ストレス解消と健康保持等）やフラワーアレンジメント教室（創造性を養いながら楽しく活動）等にも取り組み、課題の一つでもある高齢化に伴う身体機能の低下等を極力抑え、利用者の方々が健康で明るく楽しい園生活が送れるように支援しています。

社会福祉法人　瑞穂会

## 瑞穂学園

〒824-0432　田川郡赤村大字内田1474番地
TEL 0947-62-2129　FAX 0947-62-2900
HP https://mizuhogakuen.jp/

瑞穂学園は、昭和48年６月２日に入所定員50名で発足し、今年46回目の開園記念日を迎えました。

毎年４月第１日曜日に開催している「瑞穂学園際」は、当学園の一大イベントであり、地元の商工会や関係者の方々にご協力いただきながら、利用者の皆様やご家族をはじめ、地域の皆様・学園に関係ある方々と踊りや競技、様々なステージイベントを行い大変盛り上がっています。

また、当園では就労継続支援Ｂ型の事業所として取り組んでいる「パン工房ショコラ」（田川市）でできたパンを「こども食堂」へ提供したり、赤村が主催する年２回のクリーンアップキャンペーンへの参加、赤村文化祭・地域の行事に器楽クラブ「カラーズ」が参加するなど、地域に根付いた施設を目指して取り組んでいます。

# 事業所取り組み紹介

## ～あんなことこんなこと～

社会福祉法人あすなろ学園

### 障害者支援施設　門司障害者地域活動センター

〒800－0112　北九州市門司区大字畑1808番地
TEL (093)481-1915　FAX (093)481-1023
HP http://www.asunaro4261.com/

平成16年４月に指定管理施設として開設した、生活介護事業(60名)、施設入所支援(60名)、短期入所・日中一時支援(６名)を行っている創設15年目の施設です。

当施設の日中活動は、利用者の方のニーズに応えられるよう３グループに分かれて取り組んでおり、整体セラピスト職員によるストレッチやマッサージ、ミュージックケア(毎月)や巡回スポーツ教室(年３回)などに取り組んでいます。

その他､毎年秋に開催する｢門司活まつり｣は地域住民の方やご家族、近隣施設の方、学生・一般の方とボランティアの方が一丸となり、参加者800名を超える盛大な祭りで地域全体が盛り上がっています。

これからは、地域住民の方を対象に買い物支援の一環として、送迎車両支援に取り組んでいこうと思います。

社会福祉法人　北野学園

### 北野学園

〒830-1307　久留米市北野町塚島509-1
TEL 0942-78-2363　FAX 0942-78-3325
HP http://kitano-gakuen.com/

北野学園は昭和50年に開園した、施設入所支援(60名)、生活介護事業(80名)の障害者支援施設です。生活介護の生産活動グループ(KG CAFÉ & FARM)では、主にビニールハウスで小松菜(周年栽培)を生産しており、収穫と袋詰めの作業を行っています。また、敷地内の建物でカフェ(KG CAFÉ)をOPENし、淹れたてのコーヒーと手作りの焼きドーナツ等を提供しています。将来的には地域での出店を目標に、利用者の方と積極的にイベントに出店しています。今後も利用者の方々が豊かな生活を送れるように、より良い支援を行っていきます。

Vol.3

# Support

このコーナーでは、施設職員として知っておくべきことを、権利擁護・研修部会から発信していきます。

## はじめに

皆様が利用者の支援を行う際に大切にしていることは、どんなことですか？

平成29年度都道府県・市区町村における障害者虐待事例への対応状況等（厚生労働省）によると平成29年度に全国で発生した障害者福祉施設従事者による障がい者虐待の件数は、464件でした。福岡県では、14件発生しました。不適切な支援も多数発生していると考えられます。私たちの周りには、不適切な支援は必ず存在するということを常に意識しながら、利用者に対する支援を行うことが求められます。

今回は、適切な支援を行うために、私が所属する事業所における「福岡県知的障がい者福祉協会職員倫理綱領」の活用例についてご紹介します。

## 福岡県知的障がい者福祉協会 職員倫理綱領

権利擁護委員会（現在の権利擁護・研修部会）が中心となり平成27年度から「職員倫理綱領」の改訂に向けて作業が進められ、平成28年度に改訂されました。以下、職員倫理綱領の内容を紹介します。福岡県知的障がい者福祉協会のホームページでも確認できますので、ぜひご活用ください。

**前文**

障がいがあっても、その人が望む生活を送る権利があります。私たちは、ノーマライゼーションの理念に基づいた支援活動を日々実践・展開しなければなりません。そこで、私たちは、自らの手によって「倫理綱領」を定め、障がい当事者(以下、当事者)主体の福祉向上に努めることをここに誓います。

1. 私たちは、すべての当事者の基本的人権を尊重します。
2. 私たちは、当事者が社会の一員として尊重され、それぞれの自立・自律を達成できるように支援します。
3. 私たちは、当事者をいかなる理由によっても差別しません。
4. 私たちは、当事者への合理的配慮を忘れません。
5. 私たちは、当事者への虐待を一切しません。
6. 私たちは、当事者個人のプライバシーに配慮します。
7. 私たちは、当事者個々人のニーズの実現に努めます。
8. 私たちは、事業所が提供するサービス内容についての相談・苦情を真摯に受け止め解決にあたります。
9. 私たちは、地域福祉を担う社会資源の一つとして、当事者が地域で暮らす環境の構築に努めます。
10. 私たちは、初心を忘れず一人ひとりに寄り添います。

## 職員倫理綱領を活用する目的

皆様は、日々、利用者の支援を行う上で、何に基づき支援を行っていますか。何らかの価値・倫理に基づき支援を行っているはずです。専門職、例えば社会福祉士であれば、社会福祉士会が掲げる倫理綱領に基づきソーシャルワークを展開します。各法人・事業所に必ず掲げられている理念をイメージしてもらえれば分かりやすいと思います。私たちは福岡県知的障がい者福祉協会に所属していますから、職員倫理綱領に基づいた支援を行うことが求められます。職員倫理綱領に基づいた支援を行うことで、虐待や権利侵害を防ぐことができます。

## 職員倫理綱領の活用例

それでは、実際に職員倫理綱領をどのように活用しているか、私が所属する障がい者支援施設、笠松あんじゃ園での活用例をご紹介いたします。

笠松あんじゃ園では、倫理綱領及び行動規範を活用した朝礼を行っています。ある日の朝礼の様子を紹介すると、朝礼の最後に職員倫理綱領の7「私たちは、当事者個々人のニーズの実現に努めます」を職員全員で唱和し、一人の職員が、利用者のニーズを実現するた

めに今日一日どのような実践をするか目標を発表し、その目標を職員全員が意識して業務を行います。私たちは、日々の業務に追われ、自分の支援を振り返る機会が少ないのではないでしょうか。倫理綱領や行動規範を朝礼で確認することで、自分の支援を振り返ることができ、職員の前向きな目標を聞く事で、気持ちよく仕事をスタートさせることができます。

## おわりに

私たちが、利用者に対して、自分の価値観を一方的に押し付けることなく、利用者の意思を尊重した支援を行うためには、自分は何の価値・倫理に基づいた支援を行っているか、常に振り返ることが必要です。皆様が利用者の支援に関して悩んだときは、職員倫理綱領を読み返してみてください。きっと、解決のヒントになると思います。

皆様の今後のご活躍をお祈りしています。

笠松あんじゃ園　施設長　青柳　壮悟

Report

# 研修報告

## 平成30年度 九州地区知的障害者福祉協会 種別部会・合同研修会（福岡大会）

平成31年 2月5日(火)・6日(水)

平成31年2月5日・6日で、ホテルニューオータニ博多にて、九州地区知的障害者福祉協会 種別部会・合同研修会（福岡大会）が開催されました。今まで、種別部会と各種別研修会は、別々に行ってきていましたが、初めての試みとして、同日開催となりました。

1日目は、午前は種別部会が行われ、午後からは、「記録のクラウド化による支援・業務効率化とAI活用の可能性」と題して、ピットアウト株式会社　代表取締役　渡辺友太氏による講演。その後は、種別の部会代表6名が介して、「地域共生社会を実現するために～各種別の現状と課題～」と題して、シンポジウムが行われました。2日目は、各部会がそれぞれに、研修会が行われ、大会は終了いたしました。この度の大会は、参加者584名の参加を頂き、最新のAI活用についての話、種別に特化した話し合い、研修等が行われたことは、専門性を深める有意義な大会となりました。

Report

# 研修報告

## 平成30年度　第2回施設長研修会

平成31年　3月18日(月)

ACU博多にて、働き方改革関連法に関する研修会を開催しました。講義Ⅰでは福岡中央労働基準監督署　宮國康史氏に「労働時間法等の見直し」について、講義Ⅱでは小川社会保険労務士事務所　社会保険労務士　小川美也子氏を迎え、「働き方改革関連法施行に伴う福祉施設における対応と対策」についてご講義いただきました。

今回の改正は、「労働衛生(健康管理)」を起点としており、管理職が法令順守の意識をさらに高めることで、働きやすい環境がもたらされること、一方、職員も自らの働き方を工夫改善するという相互協力の視点が必要であること、人材確保が困難な状況下にあって、今後、さらに労務管理に関する知識や法令順守が求められることなど、再確認する良い機会となりました。

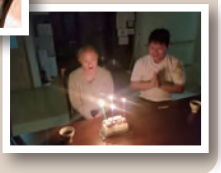
## 令和元年度　第1回施設長研修会

令和元年　5月30日(木)

福岡県福祉労働部障がい福祉課障がい福祉サービス指導室室長　勝部俊宏氏より、「福岡県障がい福祉課からの伝達事項について」と題し、県内の事業所指定状況（事業ごとの増減状況）、今年度の実地指導重点事項、平成29年度の施設従事者等による障がい者虐待の状況、２０１９年度障害福祉サービス等報酬改定についてなど、ご講演いただきました。最新の情報を提供いただくなかで、県内のニーズや事業者として順守すべきポイントを確認する有意義な研修となりました。

## 新規会員加入施設紹介　(●●●)

社会福祉法人　夏吉睦福祉会　**グループホーム　フォレスト**



グループホーム　フォレストは、今年の４月１日に定員６名でスタート致しました。

平屋作りの新築で、リビングの裏手には、自然豊かな田畑が広がり、朝は小鳥の鳴き声で　目が覚める様な、とても静かで気持ちが落ち着く環境に恵まれた場所にあります。

同じ法人の日中活動を利用されており、皆さん、家庭的な雰囲気の中、充実した日々を過ごされています。

これからも、利用者の皆さんにとって、明るく楽しく、安心して生活を送っていただけるように、地域の皆様にもご協力を戴きながら進んでいきたいと思っています。

どうぞ、宜しくお願い致します。

【本会ホームページ】
http://www.fukuoka-chiteki.jp

▶本会では、ホームページによる情報提供を行っています。随時更新を行い、より良いサイトにしていきますので、何かお気づきの点などがございましたら、事務局までご連絡ください。

とびうめ発行　福岡県知的障がい者福祉協会　会長：木髙　徳典　春日市原町3-1-7　福岡県社会福祉協議会内　TEL092-584-3377